

た の

ね

楽

し

い

音

!

梅雨入りし、雨が降っている日は多かったものの、夏らしい雨の降り方（突然の豪雨や夕立のような雨）が多かったように思います。

今日は、今の季節（梅雨から真夏に向けた）夏にぴったりの曲を紹介します。音楽の授業では、どの学年でも、季節に合った曲に取り組んでいます。

立川市立大山小学校  
音楽科通信 第16号  
令和2年7月16日  
音楽科 大野 智子

1年生では【たなばたさま】や【うみ】が人気のようで、音楽の授業の度に、元気な声で歌っています。2年生は、楽しく輪唱に取り組み【あの青い空のように】を、夏の清々しい青空をイメージして、明るい声で歌うように心掛けています。3年生は、「誰でも音楽を楽しむことができる」という意味も込めて、手話を取り入れた歌に挑戦しています。雨上がりの場面を想像して【にじ】を、手話をしながら歌っています。4年生は、巻頭の【花束をあなたに】という曲から、爽やかなイメージを感じ取り、曲に合った歌い方の工夫に取り組んでいます。5・6年生は「海」に関わる曲に取り組み、歌詞の内容を読み取ったり、強弱記号を生かした歌い方を工夫したりしています。



1年生：P.22「かたつむり」 P.24「ぶんぶんぶん」 P.28「うみ」  
P.74「たなばたさま」

2年生：P.34「いるかは ざんぷらこ」

3年生：P.12「海風きって」 P.38「ふじ山」 P.74「にじ」

4年生：夏を感じさせる曲はありますが、明確な根拠がないので、掲載しません。

5年生：P.18「いつでも あの海は」 P.65「海」

6年生：P.24「われは海の子」 P.56「夏は来ぬ」

ページ数は教科書参照



ちなみに、1年生の「うみ」と5年生の「海」は、全く別の曲です。

共通点は、3拍子・題名の通り「海」をテーマにしていることですが、

- ♪ うみはひろいな ～ で始まる爽やかなイメージ、海への思いを馳せている「うみ」と、
- ♪ 松原遠く きゆるところ ～ で始まる、大人びた表現や歴史を感じる歌詞が多く、強弱が明記されている「海」と、曲の雰囲気は全く違うものです。

この他にも、

- 「ほたるこい」 「あめふり」 「夏の思い出」 「すいかの名産地」 「キラキラ星」
- 「アイスクリームのうた」 「おばけなんてないさ」 「南の島のハメハメハ大王」
- 「かもめの水兵さん」 「ピクニック」 「浜辺の歌」 などがああります。

## 今学期の学習の取り組みについて

学校再開当初は、7月20日（月）頃より、共有楽器（木琴や鉄琴など、学校内にある楽器）の使用を考えていました。しかし、この数週間の情勢を鑑みると、不安を拭えない状況でしたので、取り止めました。

今学期は、適切な距離を保ちながら、約束事を守って以下の内容について取り組みました。

### 1 話し合い活動の実施

高学年では、グループ奏や二重奏の練習において、友達と意見交流をしました。また、一緒に練習に取り組めるように、グループ練習も実施しました。

今までとは違う“友達との距離感”を寂しく思う児童も多く、なぜか少しずつ座席が近づいてしまう学級もありました。しかし、マスク着用での会話、演奏時は距離感を意識して取り組むこと等をしっかり守り、有意義な時間になりました。



（イメージ図）

### 2 演奏発表の実施

4年生では、1人ずつ、2拍子（2拍子、8分の6拍子）・3拍子・4拍子の指揮を、みんなの前で発表しました。詳細は次号でお伝えします。

全員が、学級を前にして指揮を振ります。みんなが見えるように椅子の上に立つのですが、指揮者が替わるたびに、椅子（立つ場所だけではなく、登るために掴んだ場所も含めて）の消毒をして実施しました。

### 3 検定の実施

器楽演奏（2年生は鍵盤ハーモニカ、3年生以上はリコーダーの個別検定及びグループ演奏の発表）の検定を2年生以上で実施しました。

原則、私が児童の席まで行き、その場で検定を実施する形式でした。

一度、3年生のリコーダー検定では、ピアノの近くに来て検定を実施する形を取りましたが、床板3枚分空けて待つこと、検定を受けたい時には拳手をして意思表示をすることなどの約束を守って取り組んでいました。



2学期以降の衛生安全面や学習内容の取り組みについても、今学期同様、できる限りの配慮をしていきます。その中で、少しずつでも“できること”が増えていくことを願っています。

そして何よりも、指導の徹底を行う上で、大山小学校の子供達の純粹さと素直さを、とても嬉しく思います。一度話した約束やルールは、必ず次も守ろうとする意識が、多くの子供達に在ります。そのよさを生かして、上記の“できること”を、計画的に増やしていきたいです。